

授業科目名	基礎医学英語I	担当教員	岩田 淳
開講年次・学期	1年前期	必修/選択	必修
開講形態	演習	時間数/単位数	1単位
<b>学習目標</b>			
<p>医師にとって英語は、情報の入手、情報の発信、患者や他の医療従事者とコミュニケーションを図る上で必須のツールです。「基礎医学英語1」では、医学の学習、診療、研究に役立つよう、医学英語の語彙集、eラーニング教材、医学英語のテキストを利用し、基礎的な医学英語の語彙を身につけるとともに、基礎的な医療面接の表現を学ぶことで医学英語の基礎力を身につけます。</p>			
<b>ディプロマポリシーとの関連</b>			
<p>&lt;コミュニケーション能力&gt; 4. 医療人に必要なコミュニケーション能力を身につけ、患者やその家族と良好な人間関係を築くことができる。&lt;グローバル化への志向力&gt; 12. 海外の医療や異文化を理解し、グローバルな視点で物事を判断し行動することができる。</p>			
<b>学修成果(到達目標)</b>			
<p>医学・科学に関する情報の入手や理解、また情報の発信において、英語が必須の道具であることを理解するとともに、医学分野で頻出する基本語彙習得に向けた演習や、基礎的な英語医療面接のリスニング、スピーキング演習、医学ニュースのリスニング演習等により、医学英語の基礎力を養う。具体的な到達目標は次のとおりです。 (1)医学英語の語彙に特徴的な構成を理解する。 (2)医学分野に関する英文ニュースを聞き、概要を理解できる。 (3)基礎的な医療面接の会話を聞いて、概要を理解できる。 (4)英語の医療面接における基本的な表現を理解できる。</p>			
<b>キーワード</b>			
英語コミュニケーションスキル、国際化、異文化理解、専門(医学・看護)英語			
<b>授業の進め方</b>			
本授業は、1年生を2グループに分けて、対面授業、eラーニング、ペアワーク等を組み合わせた「ブレンド型学習(Blended-Learning)」で実施します。授業にはノートパソコンかタブレットを持参してください。			
<b>評価方法</b>			
試験(60%)、小テスト(30%)、出席、授業の取組み(10%)により評価します。授業に2/3以上の出席がない場合「未修」とします。			
<b>合否基準</b>			
評価方法に基づき、100点満点を総得点とし、60点以上を合格とします。			
<b>教科書・参考書</b>			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・教科書:『医学英語I - 語彙の充実と読解力の向上-』メディカルビュー社(2,500円税別)</li> <li>・eラーニング教材「Moodle」</li> <li>・医学部基本語彙集3000(授業で配布)</li> <li>・英和辞書(電子辞書も可)</li> <li>・イヤホン(各自で購入しておくこと)</li> <li>・ノートパソコン(タブレットも可)を持参してください。</li> <li>・参考書 <ul style="list-style-type: none"> <li>(1)『キクタンメディカルー1. 人体の構造編』、アルク(2,800円税別)</li> <li>(2)『キクタンメディカルー2. 症候と疾患編』、アルク(2,800円税別)</li> </ul> </li> </ul>			
<b>オフィスアワー</b>			
授業日の放課後			
<b>コア・カリとの関連</b>			
<p>A-4-1) コミュニケーション ねらい: 医療内容を分かりやすく説明する等、患者やその家族との対話を通じて、良好な人間関係を築くためのコミュニケーション能力を有する。 学修目標: ①コミュニケーションの方法と技能(言語的と非言語的)を説明し、コミュニケーションが態度あるいは行動に及ぼす影響を概説できる。 ②コミュニケーションを通じて良好な人間関係を築くことができる。 ③患者・家族の話を傾聴し、共感することができる。</p> <p>A-7-2) 国際医療への貢献 ねらい: 国際社会における医療の現状と課題を理解し、実践するための基礎的素養を身に付ける。 学修目標: ①患者の文化的背景を尊重し、英語をはじめとした異なる言語に対応することができる。 ②地域医療の中での国際化を把握し、価値観の多様性を尊重した医療の実践に配慮することができる。 ③保健、医療に関する国際的課題を理解し、説明できる。 ④日本の医療の特徴を理解し、国際社会への貢献の意義を理解している。 ⑤医療に関わる国際協力の重要性を理解し、仕組みを説明できる。</p>			